

式 辞

春爛漫の今日の佳き日に、入学式を迎えられた百十三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

本来ならば、地域の方々をはじめとする、ご来賓の皆様方に、ご臨席を賜るところではございますが、皆さんもご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の影響により、ご遠慮いただいた次第でございます。

さて、新入生の皆さん。皆さんは今日から伝統ある住吉中学校の一員です。今日から始まる新たな学校生活、新しい環境、新たな出会いと新しい仲間、心配や不安なこともあるとは思いますが、焦らずに一步ずつ前に進んでもらいたいと思います。ここから見る皆さんの姿は、緊張しながらも、中学校生活への期待や意欲に満ち溢れ、これからの皆さんの活躍がとても楽しみです。

それでは、入学式にあたり、皆さんに期待することを、三つお話ししたいと思います。

本校の生徒会が立てた目標は『SDGs』でした。その意味は、積極的に行動する、誰とでも話し合える、元気に挨拶できる、住中生になろうで、その頭文字をとったものが『SDGs』です。

その三つの目標をもとに、新入生の皆さんに期待することをお話します。

まず一つ目の「積極的に行動する」ということ。自らが主体となって、目標を掲げ、日々の学習活動や学級活動、部活動など、学校生活全般において、積極的に取り組むことが何よりも大切なことです。失敗を恐れず、何事にも積極的にチャレンジしてほしいと思います。

二つ目は、「誰とでも話あえる」ということ。日頃からコミュニケーション能力を高めていくことを心掛け、人との対話を大事に、そして、自分の考えをしっかりと伝えることができる人に成長してもらいたいと思います。当然のことながら、自分の考えばかりを押しつけるのではなく、相手の考えを受けとめ、理解し、意義ある話し合いの場面をたくさん持つてほしいと考えます。

そして、三つめは「元気に挨拶できる」という

ことです。一日のスタートは、まずは「挨拶」からです。「挨拶する」ことを通じて、お互いに存在することの価値を認め合い、相手を敬うことの大切さを忘れないでいてほしいと思います。

この三つの目標は、皆さんが心豊かに「自立」して生きていくために欠かすことのできないものです。

今日から始まる中学校の三年間で、多くのことを学び、自立した人として、地域や社会に、貢献できる人となってもらいたいと考えています。

さて、最後になりましたが、保護者の皆さま方、お子さまのご入学、誠におめでとうございます。本日より三年間、大切なお子さまを、私たち教職員が、責任を持ってお預かりし、子どもたちの輝ける未来のために、教育活動に、誠心誠意取り組みんでいく所存でございます。

しかしながら、なにぶん学校だけでは不十分な点も、多々あるかと思います。保護者の皆様方の、本校教育活動への、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新入生の皆さん、一年一年が大きな節目となる、
これからの三年間が、有意義なものとなり、今日、
入学した七十八期生が、日々着実な歩みを遂げ、
大きく成長することを期待して、式辞とします。

令和四年(二〇二二年)四月五日

大阪市立住吉中学校

校長 坂井 伸治